

令和9年度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜7月選抜
学力検査問題

専門科目：記述式総合問題

注 意 事 項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて1ページ、下書用紙は1ページ、解答用紙は4ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	専門科目
-----	------

令和 9 年 度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜 7 月選抜
試験 問 題

(1 枚の 1)

問 1. 次の用語群から五つを選んで、それぞれについて 100 字以内で説明しなさい。

自由進度学習	思考ツール	スクールカウンセラー
GIGA スクール構想	教務主任	こども基本法
インクルーシブ教育	潜在的な（ヒドゥン） カリキュラム	

問 2.

次期学習指導要領の改訂に向けて、令和 7 年に中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会の教育課程企画特別部会が論点整理を行った。そこでは、次期学習指導要領の基本的な考え方の一つとして、「実現可能性の確保(Feasibility)」があげられ、「持続可能な在り方を追求し、教師と子供の双方に『余白』を創出することで豊かな学びに繋げる」と説明されている。ただし、この問題では、「余白」を「自分たちの裁量で好きに使える時間」と捉える。

(1)

授業の中に子どもたちの「余白」＝「子どもたちの裁量で好きに使える時間」を作り出すために、教師はどのような授業の工夫をすることができるか。校種と教科を指定し、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

(2)

教育行政や学校、教師の努力によって、子どもたちに十分な「余白」が創出された場合、学校全体で「豊かな学びに繋げる」ためには、教師はどのようなことに留意すべきか。問 1 で指定した校種を想定して、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。